会計関係部課長会議　会議録

１　日　時　　平成２５年８月１３日（火）　午後１時３０分から３時３０分

２　会　場　　愛知県自治センター４階大会議室

３　当番市　　大府市

４　出席者　　愛知県会計局会計課長　浅田　和男
愛知県会計局会計課公金管理・収入Ｇ課長補佐　伊藤　明輝
名古屋市会計室次長　柵木　厚　始め４０名
市長会事務局　行政係長　太田　雅之　始め３名

５　内　容　　１　開会　　市長会事務局財政係長　石川　浩司

２　あいさつ　　愛知県会計局会計課長　浅田　和男

３　議長選出　　大府市会計課長　福井　芳信

４　議題

（１）債券（国庫短期証券）の見積合わせについて
（豊橋市提出）

・債券の見積合せを実施している１４市に補足説明を求め、その結果、全てが予定価格書は作成していない状況であった。また、見積の提出方法は全てがＦＡＸで行い、原本提出は依頼していない状況であった。
なお、県も各市と同様で、予定価格書は作成していない状況であり、予定価格を省略する根拠は不明とのことであった。（２５年度から歳計現金の運用・管理は財務資金室が担当となる。）
※予定価格書省略の根拠については、今後、何か情報があれば情報提供をお願いしたい。

（２）基金の一括運用について（岡崎市提出）

・提出市は基金ごとに基本６か月の大口定期で運用しているが、思ったような利率が出ず、今後、効率的な運用方法で

ある一括運用を取り入れていきたいとの考えの中、情報提供をお願いしたいとのことであった。
基金の一括運用を実施している１３市に補足説明をお願いする。状況は別紙資料のとおり。
なお、県の状況は約７,０００億円、３７基金があるが、一括運用は行っていない。今後もそれぞれ所管する担当課の意向もあり一括運用の予定はないとのことであった。
その他としては、コーラブル預金での運用についての情報提供があった。
※コーラブル預金とは、預金者は満期まで解約できず、銀行側に期限前解約の権利がある預金のこと。
満期日延長特約付き定期預金と訳される。
定期預金に金利スワップのデリバティブを内包させた商品で、預金者に解約の自由度が無い分、金利が高めに設定される。

（３）その他
・半田市
Ｑ：県は歳計現金の資金運用を会計部局から財政部局に移したとの説明があったが、歳計現金の保管、管理は会計管理者の職務の範疇だがどんな解釈で行っているのか。
Ａ：財務資金室の職員を会計課職員と兼務させることで対応している。

５　その他
・なし（事務局）

６　次年度当番市の決定
・慣例により市制施行順の知多市に決定

７　閉会　　市長会事務局財政係長　石川　浩司